

ほんわ館だより

令和7年7月発行
第154号

中山町立図書館
開館 9:00～19:00
休館日 7/7.14.22.28



7月の展示コーナー



★おすすめコーナー 『防災～“減災”意識してますか？～』

★児童書コーナー

- ・絵本コーナー 『ようこそ なつ』 『どんないろがすき？』
- ・円形コーナー 『いたらどうする？』
- ・空中図書コーナー 『日本絵本賞』 ・小学生おすすめコーナー『楽しい自由研究①』

★2階掲示板 『最恐の本』

★今月のおはなし会★

7月19日(土)11:00～11:30
場所:ほんわ館 多目的室

みんなでカッパ一座
と歌って暑さを吹き
飛ばそう！



夏休みイベントのお知らせ

第一弾『夕涼み浴衣で図書館～怪談ナイト～』

★開催日:7月26日(土)

怪談会、ワークショップなど楽しい催し物がいっぱい！
怖い話で夜眠れなくなるかも・・・？



ワークショップではラミネート
バルーンを作るよ！

他に大人向けのワークショ
ップもあるよ！

第二弾『ほんわ館夏休みイベント』

今年も脱出ゲームに挑戦しよう!!

★開催期間:7月27日(日)～8月3日(日)
※7月28日(月)はお休みです

詳しい内容は館内ポスター、チラシ、ほんわ館ホームページをご覧ください!!乞うご期待♪



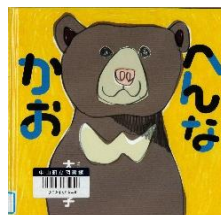
新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にも
たくさん入っています

【児童書(えほん など)】



◀『おにぎり
ぱく!』
はらぺこめがね
/作
白泉社



◀『へんなかお』
大森 裕子/著
白泉社



◀『少年とクスノキ』
東野 圭吾/文
よしだ るみ/絵
実業之日本社

【文芸書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
いとしきもの	小川 糸/著	こらしめじぞう	村上 しい子/著
ニンジャ(公安外事・倉島警部補8)	今野 敏/著	わかったさんのチョコレート	寺村 輝夫/原案
往来絵巻(貸本屋おせん2)	高瀬 乃一/著	ボードゲームづくり入門	高橋 晋平/著
真実の幻影	堂場 瞬一/著	うごく紙コップ工作	野出 正和/著
ヨシモトオノ	吉本 ばなな/著	昆虫擬態図鑑	川邊 透・前畑 真実/著
温泉小説	朝比奈 あすか/著	【教養書】書名	編著者名
名探偵再び	潮谷 駿/著	流れのままに旅をする。	Bappa Shota/著
ザ・ネバーエンディングストーリー	小路 幸也/著	いい音がする文章	高橋 久美子/著
風読みの彼女	宇山 啓佑/著	だったらこれならどうですか	ヨシタケシンスケ/著
だいたいしあわせ	阿川 佐和子/著・絵	上村松園 凜として立つ	
口出し屋お貫	中島 要/著	ガザ 戦下の人道医療援助	萩原 健/著
幸せな家族 そしてその頃はやった唄	鈴木 悦夫/著	鳥海山 南東北名山ガイド	
ぼくは刑事です	小野寺 史宜/著	英語ピクト図鑑	マーク/著
フェアリー・テイル(上・下)	スティーヴン・キング/著	音声と写真でよみがえる昭和	保阪 正康/著



本の歳時記



「浴衣」

夏の風物詩の一つに彩り豊かな浴衣があげられます。浴衣の始まりは平安時代に遡り 沐浴時に着用された麻などの「湯帷子(ゆかたびら)」です。江戸時代の中頃になって藍染め木綿の浴衣地が用いられるようになり夏の街着に発展したといわれます。



『あきない世傳 金と銀』
高田 郁//著
角川春樹事務所

～浴衣は街着へと～

着物商い・五鈴屋の主従の奮闘を縦軸に描かれた時代小説『あきない世傳 金と銀』、シリーズ10作目・合流編では、浴衣が考案された経緯を横軸に物語が展開していきます。

湯上りの身拭いにすぎなかった部屋着の湯帷子を寛ぎの街着として浴衣地に・・・今までにない新たな品を世に送り出そうと知恵を合わせて精進する姿が、江戸の風情描写を背景に生き生きと描かれています。最終巻の13巻では、この物語を書くきっかけとなった実在の女性の名も明かされていますのでぜひシリーズ通読をおすすめします。



『居酒屋 ぼったくり おかわり2』
秋川 滝美//著
アルファポリス

～浴衣が取り持つ縁～

まだ自分で着付けることができない幼い頃、浴衣はお祭りや花火見物などで大人から着せてもらう晴れやかなものでした。いつも帯をきつめに巻かれたのは、浮足立ったわが子の気持ちを引き締める親心だったのかもしれません。

『居酒屋 ぼったくり おかわり2(浴衣が取り持つ縁)』。舞台は東京下町、結婚を控えて片付けを始めた馨は、居酒屋を営んでいた 今は亡き両親の衣装ケースから、見たことのない大人物の浴衣を見つけます。

お祭りの時でも馨と姉の美音に着せるばかりで 自分たちはTシャツ姿で忙しく立ち働いていた、そんな亡き両親の姿を思い出した馨。妙に惹かれるその萌黄色の浴衣を、自分で着付けられるようになろうと出向いた先は・・・。



『安田多賀子の ゆかた塾』
安田 多賀子//著
誠文堂新光社

～もっと楽に涼やかに～

最近は中学校の家庭科で浴衣の着付けの授業があるとか。 自分で着付けができるようになったら浴衣がもっと身近になりますね。

この本には、着付けのしかたはもちろん涼感たっぷりに着こなすヒントや、きれいに写真に写るコツも載っています。ぜひポイントを押さえておきたいものです。



ほんわ館では今月「夕涼み 浴衣で図書館」のイベントがあります。着付けを手伝う企画もありますので、慣れない方でも気軽に浴衣で夕涼みにおでかけください。

ほんわ館で読まれています

『リペアラー』

大沢在昌//著 KADOKAWA



40年前、六本木のビルの屋上で見つかった男性の遺体は何者か？警察は事件性もなく、身許不明の「行旅死亡人」として処理していたが、想一らが調べると、ある奇妙な人物に行き着き・・・

『雑草と恋愛』

群 ようこ//著 角川春樹事務所



隣人のチユキに恋愛相談をされたり、アパートの雑草ぬきに勤しんだり、兄一家のネコの画像に癒やされたり。キョウコは相も変わらず無職のまま、月10万円でのんびり一人暮らし中・・・

『何のために生まれてきたの?』

やなせ たかし//著 PHP研究所



「アンパンマン」の生みの親のやなせたかし。苦しい時もユーモアと好奇心を忘れなかった著者が、作品誕生の経緯と、戦争体験や下積み時代を乗り越え、くじけずにやってきた元気の理由を語ります。

『高宮麻綾の引継書』

城戸川りょう//著 文藝春秋



精魂込めて作り上げた新規事業が、親会社に潰された。理由はリスク回避。怒りを爆発させた三年目の社員・高宮麻綾は、社内外を駆けずり回り…。山辺町出身の著者デビュー作品。